

(様式3-2)

千葉県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要

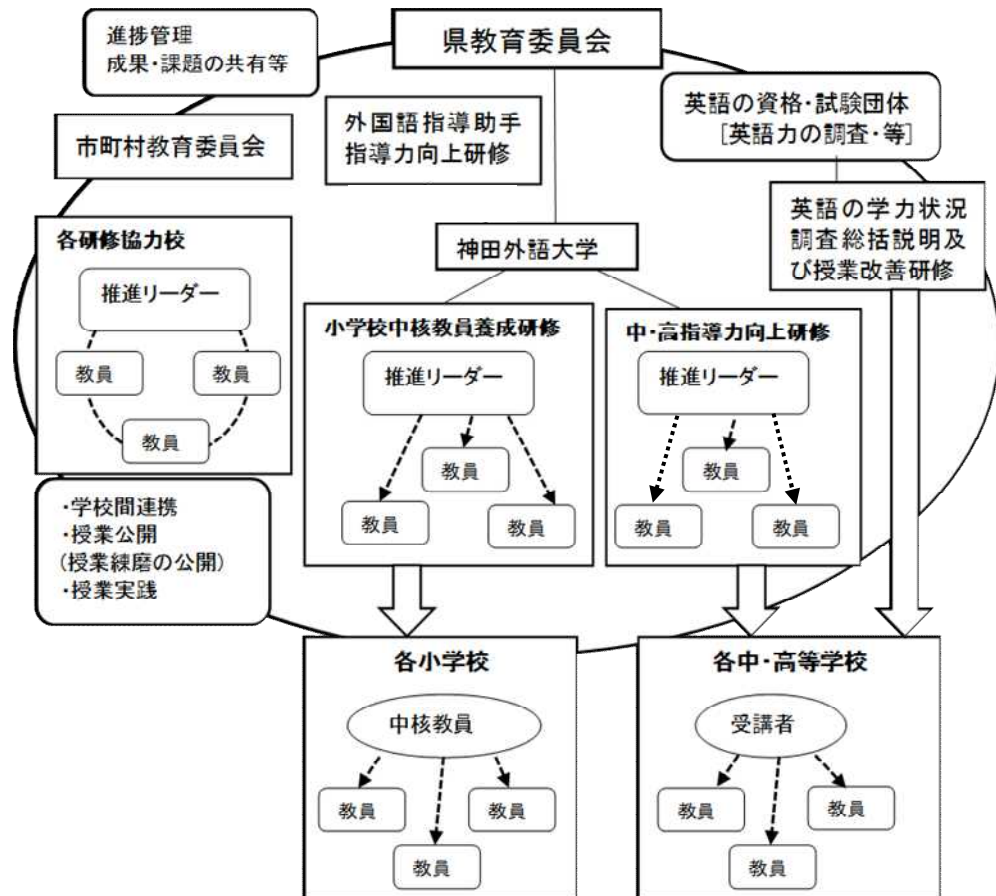
千葉県教育委員会では、日本をリードする教育県を目指し、子どもたちが、郷土と国を愛し、真の国際人として活躍できる「教育立県ちば」の実現に向け、第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定した。その施策の一つである「異文化を理解し、国際的コミュニケーション力のある真の国際人を育てる」のもと、外国語教育の充実に向けた取組を行っている。平成22年3月に「千葉県教職員研修体系」を策定し、10年間を見越した課題解決に向けた検討を行い、研修内容の重点化や地域研修リーダーの養成が基本方針として示された。また、初任者研修や5年経験者研修等での教科指導に係る研修において、推進リーダーや中核教員が、指導力の向上に向けた支援を行えるような制度設計の見直し等を進めている。

千葉県総合教育センターと指導課の連携を深め、教育振興基本計画と千葉県教職員研修体系に基づいた、教員養成に向けた研修体制を構築していく。

本事業での取組を通じて、千葉県内各校の外国語指導力向上及び担当教員の英語力向上を推進する。さらに、千葉県内公立学校全体の英語力向上に係る研修体系の構築に向け、県独自の取組も加えながら実施する。特に県の事業であり、異校種間の連携と指導力向上を目的とした「授業練磨の公開日」と関連づけ、本事業で成果のあった指導実践を近隣の学校に公開し、一層の成果の普及を図る。

また、研究協力校を英語教育に先進的に取り組んでいる松戸市と成田市に設定し、モデル地区の拠点校としての役割を位置づけ、「外国語教育強化地域拠点事業」に指定され研究を進めた流山市の実践も参考としながら、計画的に授業公開や研究協議を実施することで、先進的な取組を県内に普及する。

また、県内5教育事務所から推薦された「英語教育推進リーダー中央研修」受講者は積極的に授業公開することと位置づける。



【大学・民間機関等との連携】

- 教育委員会が現場と大学や民間機関等をつなぐ役割を担い、域内の状況やニーズ、学習指導要領の趣旨等について共有し効果的な研修を開発・実施
- 大学等と連携し、専門性を生かした小・中・高校の教員向け研修プログラムの開発・充実
 - ・総合教育センターの研修企画・運営
 - ・英語のパフォーマンステストの実施方法・評価の工夫
 - ・英語で行う授業における指導法
 - ・千葉県英語の学力状況調査の結果総括説明会及び研修会
(IBAの結果とCAN-DOリストをもとに指導法や指導体制について)

(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

① 英語教員の資格取得状況について

全国と比べて、資格所有者の割合が特に高等学校では低い状況がある。実力はあっても、資格受験の機会がなかったことが一番の要因と考える。

新規採用者の資格取得状況は、一定のレベルを維持しており、毎年5%程度の上積みが可能である。資格取得に向けて以下のような取組を進めていく予定である。

- ア 全国と千葉県の取得状況を比較して、英語力向上の必要性を周知する。資格の取得に向けての啓発に努め、特別価格での外部試験についての情報提供等の周知を徹底する。
- イ 中高英語教育研修会の中で、研修参加者に直接、英語力向上の必要性及び資格取得を促す。また、年度毎の目標申告の際に、資格取得等について、記載するように、校長会議や教頭会議をとおして、説明し理解を求める。

中・教員	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標	27.0%	33%	40%	45%	50%	50%
現状	27.0%	31.3%	30.3%	31.5%	31.7%	

高・教員	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標	33.9%	45%	55%	65%	75%	75%
現状	33.9%	38.1%	39.2%	46.1%	47.5%	

② 生徒の資格取得状況について

生徒の状況であるが、中学校・高等学校ともに全国平均を上回っている。引き続き、授業での言語活動を通じて、個々の生徒の言語能力についてきちんと評価し把握する体制を整える。生徒が自ら英語で表現し、発信する姿勢の涵養や英語学習に対する動機づけを図る取組を、学習指導要領の趣旨に沿って進めるとともに、外部検定試験を活用するなど客観的な能力判定等を行うことにより、達成感を伴った形で生徒の主体的な学習意欲の向上を図りたい。現在、英語検定協会と大規模検証事業を実施しており、3年の間、県内の中学校・高等学校の生徒を対象として、英語能力判定テストを行う。本事業は、生徒の能力判定を図るとともに、フィードバックを教師及び生徒に行い、希望生徒には、Web英語学習プログラムが提供されるため、目標に向かった主体的な学習が期待できる。

平成30年度は、3年間のデータを活用し、各学校の課題を明確にした上で授業改善を図り、生徒の英語力向上に向けた取組を進める。

中・生徒	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標	36.6%	40%	43%	46%	50%	50%
現状	36.6%	40.0%	52.1%	45.9%	48.9%	

高・生徒	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標	28.3%	34%	40%	45%	50%	50%
現状	28.3%	27.2%	45.5%	41.0%	43.9%	

③ 学習到達目標の整備状況について

CAN-DOリストの設定率100%を目指す。公表率及び達成状況の把握の向上を目標に、学校訪問での指導助言を行っていく。県教育委員会だけではなく、各教育事務所、各市町村教育委員会及び千葉県高等学校教育研究会英語部会との連携を密にして、作成や効果的運用のあり方等について指導・伝達をしていくこととする。その際に、活用事例など具体的なものを示すようにする。

中学校	H25	H26		H27		H28		H29		H30	
		現状	目標	現状	目標	現状	目標	現状	目標	現状	目標
設定	10.1%	25.0%	12.3%	36.2%	100%	99.4%	100%	99.7%	100%		100%
公表	2.5%	5.0%	2.5%	2.8%	5.0%	11.3%	15.0%	12.0%	50%		50%
達成状況把握	8.3%	10.0%	6.4%	8.0%	20.0%	23.6%	50.0%	26.2%	70%		70%

高等学校	H25	H26		H27		H28		H29		H30	
		現状	目標	現状	目標	現状	目標	現状	目標	現状	目標
設定	98.0%	100%	100%	68.1%	100%	81.7%	100%	82.6%	100%		100%
公表	13.6%	25.0%	12.6%	13.0%	25.0%	22.9%	80.0%	20.3%	100%		100%
達成状況把握	31.8%	70.0%	37.9%	32.9%	80.0%	36.0%	90.0%	55.8%	100%		100%

④ 生徒の英語による言語活動時間の割合について

授業における生徒の英語による言語活動の割合は、中学校では一定水準を維持している状況にある。教員の指示や説明を除けば、現状から70%程度まで向上できれば、一層生徒の言語活動が充実し、活動内容の効果的な精選にむけて取組をより良いものにできると考える。

高等学校では、現行の学習指導要領での指導が行われているが、教員の説明等の一斉指導の占める割合がかなり多い状況である。生徒のペアワークやグループワークを十分に取り入れ、生徒自身の活動を増やす授業改善を更に進めていく。

さらに、千葉県英語の学力状況調査総括説明会及び研修会の中で、CAN-DOリストの活用を関連付けた研修を実施する。

中・生徒	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標	52%	55%	60%	65%	70%	75%
現状	52%	58.9%	68%	65.2%	70.4%	

高・生徒	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標	31.5%	35%	40%	45%	50%	55%
現状	31.5%	36.1%	38.2%	39.2%	43.9%	

⑤ パフォーマンステストの実施状況について

中学校では、パフォーマンステストについては、ある程度定期的に実施されている状況である。今まで以上に回数を実施することと、生徒の実態にあったテストづくりを進めることで、生徒のコミュニケーション能力の一層の伸長を図りたい。

高等学校については、学科や科目によって、その実施状況に差がある。学習指導要領の趣旨に合った言語活動を更に取り入れることが指導力の向上に直結すると考える。また、パフォーマンステストが実施されていない状況では、授業改善が難しい。そのため、学校訪問では作成方法や評価方法など具体的に指導するとともに、千葉県高等学校教育研究会英語部会との連携を密にして、改善・充実を図る。

スピーキングテストの実施状況

中学校	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標			3回	4回	4回	4回
現状			2.6回	2.5回	2.5回	

高校	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標			2回	3回	3回	3回
現状			0.3回	1.1回	0.9回	

ライティングテストの実施状況

中学校	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標			3回	3回	4回	4回
現状			1.9回	1.7回	1.5回	

高校	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標			1回	2回	3回	3回
現状			0.2回	0.9回	0.8回	

⑥ 英語担当教員の英語使用状況について

新学習指導要領の実施に向けて、指導力向上研修の中で、生徒の発話を引き出すための教師の英語での指示や授業内でのインタラクションがそのまま英語でのコミュニケーションとなるよう研修を進めていく。

また、日本語に頼らない授業スタイルを確立するとともに生徒の活動を中心とした言語活動が柱となる授業の在り方について、指導主事会議で共通理解を図り、学校計画訪問や研修会等様々な機会を通して指導していく。学校訪問で指導するとともに、千葉県高等学校教育研究会英語部会との連携を密にし、指導と評価の改善を更に強化していく。

中・教員	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標			50%	80%	100%	100%
現状			60%	64.8%	65.9%	

高・教員	H25	H26	H27	H28	H29	H30
目標			50%	80%	100%	100%
現状			42.9%	38.2%	40.9%	

⑦ 小学校における教員の英語力について

小学校中核教員養成研修において、教員に求められる英語力について説明するとともに、資格取得を促していく。

また、本事業とは別のものとなるが、英語教育推進リーダーを講師として、総合教育センター主催の研修や免許認定講習及び資質・能力向上研修等とも関連付けながら指導・支援を進めていくこととする。

⑧ 研修実施回数、研修受講者の人数について

小学校は平成31年まで中核教員養成研修を3日間実施し、県内各学校に中核教員（県教委主催研修受講者）を配置することとし、各市町村教育委員会と連携を図り、各地区や各学校における研修会を実施するとともに内容の充実を図る。

中・高等学校については、夏季休業中に3日間と冬季に1日の研修を実施し、指導力向上及び授業改善を図る機会とする。さらに、英語の学力状況調査に係る研修を1回実施し、授業改善及び指導体制の再構築を図る。

小学校・中学校・高等学校等において語学指導に従事する者「外国語指導助手及び日本人外国語担当教員」を対象に、2日間の研修・研究協議を実施する。

⑨ 教師の英語指導力の変容および研修の評価方法について

千葉県では、年1回11月の「学力向上月間」を中心に各学校に「授業練磨の公開日」を位置づけることを義務づけている。各学校が表現力やコミュニケーション能力等の育成を目標に掲げ、授業練磨の公開日で授業公開し、近隣校の教師と指導法の改善を図っている。公開日や指導主事訪問において、本事業研修参加者の英語指導力の変容について評価することとする。また、8月の研修と2月の研修との間に一定期間を設け、その期間に実践した授業についてマイクロティーチングを行い、2月の研修で評価する。

(3) 研修の体系と内容の具体

① 教員の資質能力の育成に係る研修

ア 推進リーダー及び中核教員養成に係る研修

連携大学である神田外語大学の外国人講師を活用し、ワークショップ形式の研修等、実践的な研修を通し、教員の英語力の向上を図るとともに、新学習指導要領に対応した英語による効果的な指導方法を習得する。なお、神田外語大学は、英語研修所「ブリティッシュヒルズ」を擁し、英語研修所としての中核的役割を果たすとともに、小中高の英語教師を対象として夏季英語教育公開講座を企画及び主催している。その研修で得た知見を十二分に活用し、県全体の英語教育の改善に大きく寄与している。

(ア) 小学校中核教員養成研修

○対象者

小学校 180名 特別支援学校（小学部） 5名

○研修の目的

- ① 小学校外国語活動の指導の充実のため、指導方法や魅力的な教材の活用、体験的な活動の推進など指導力向上を目指すとともに、全校での指導体制や校内研修のあり方など地域、各学校の中核教員として必要な知識等を習得する。
- ② 小学校外国語（英語）活動における基本的な指導方法や教材の活用等について、実践者・実践校での活動例から学び、近隣学校間での外国語（英語）活動の情報交換の場とする。
- ③ 実践的な研修を通して、学習指導要領に対応した小学校外国語（英語）活動の指導力向上を目指す。

平成29年度から、小学校英語の教科化に備え、「アルファベットの音声と文字の指導」と「絵本の読み聞かせ等」についての講座を設け、指導要領の改訂への準備を進めている。

○日程等

- 第1回 平成30年7月27日（金）
 第2回 平成30年7月30日（月）
 第3回 平成30年8月 1日（水）

会 場 神田外語大学

(イ) 中・高等学校英語科教員指導力向上研修（平成26年度～平成30年度）

○対象者

中学校 269名 特別支援学校（中学部） 5名
 高等学校 400名 特別支援学校（高等部） 5名

※中・高等学校は、5年間で県内各校のすべての英語教員を対象に研修を行う。

○研修の目的

- ①英語教育推進リーダー中央研修に参加した教師を講師として、英語教育を充実するための必要な知識等を習得する。なお、14時間の研修時間を行うこととする。
- ②指導内容の重点化や4技能を総合的に活用する授業改善を図るための指導力向上を目指す。
- ③実践的な研修を通して、教員の英語力の向上を図るとともに、新学習指導要領に対応した英語による効果的な指導方法を習得する。
 外部専門機関である神田外語大学に協力を要請し、評価や英語による授業の研修に関する助言を受ける。

- 日程（高校） 第1回 平成30年7月31日（火）
 第2回 平成30年8月 2日（木）
 第3回 平成30年8月 3日（金）
 第4回 平成31年1月30日（水）

○会 場 神田外語大学、千葉県総合教育センター

※中学校は、7月～8月中の3日間は各教育事務所にて実施し、平成29年2月9日（金）は千葉県総合教育センターにて行う。

○研修終了後の活用について

研修を終えた小学校の中核教員については、各校での研修の実施に加えて、地区内の各校での教科研修、授業練磨の公開授業、小・中・高連携の授業など機会あるごとに様々な形で指導・助言を行える機会を設ける。また、教育事務所や市町村教育委員会との連携を密に行い、地区別の研修会（市町村教育委員会実施の研修会）や県主催の初任者研修、5年経験者研修や中堅教諭等資質向上研修での活用を視野に入れている。

中・高等学校については、悉皆研修であるため、学んだ内容を踏まえて授業練磨の公開授業を行い、目標申告にも記載するように教頭会議や校長会議において依頼する。千葉県高等学校教育研究会英語部会や千葉県中学校教育研究会との連携の下、研究協議会や教育課程研究協議会等の機会を活用し、取組状況の報告やマイクロティーチングの実施等を検討している。

イ 千葉県英語の学力状況調査総括説明会及び研修会

平成27年度から平成29年度までに実施してきた千葉県英語の学力状況調査3か年分のデータから、千葉県の英語の学力について成果と課題を総括する。さらに、全ての中・高等学校を対

象に、各学校の3か年分のデータを活用し、学校ごとの課題を明らかにするとともに、各学校のCAN-DOリストとの整合性の確認及び修正に向けた協議等を行い、指導力の向上や指導体制再構築を図る機会とし、授業改善につなげる。

○対象等

教育事務所指導主事	5月14日(月)	県総合教育センター
中学校教員及び市教育委員会指導主事	8月末～9月	各教育事務所の会場
高等学校教員	7月末～8月	高等学校英語部会研修

② 外国語指導助手指導力等向上研修

小学校・中学校・高等学校等において語学指導に従事する者「外国語指導助手及び日本人外国語担当教員」を対象に、効果的な語学指導ができるよう必要な知識・指導技術等を習得させるとともに、外国語教育に係る諸問題について研究協議を行い、外国語教育の充実を図る。

また、研修の際には前年度までに海外研修を行った教員によるワークショップも企画し、派遣者の活用も図る。

○日程

研修1日目	平成30年11月1日(木)
研修2日目	平成30年11月2日(金)

○参加者

JETプログラム及び姉妹州プログラムのALTを活用している学校	
中・高英語教員	約50名
ALT	約70名

○会場

県総合教育センター

③ 中・高指導評価研究協議会

県の直接雇用ALTの常駐配置校14校を英語教育拠点校と位置づけ近隣の小・中学校の教員も含めて英語の授業公開及び研究協議会を年2回程度開催することとする。

その中で、大学教授等を講師として招請し、小・中・高等学校の英語教育の連携を図るとともに、新学習指導要領の実施に向けた取組や様々な指導方法等について研修・協議を実施する。

④ 各研修の評価方法

ア 研修受講者へのアンケートの実施

イ 「英語教育実施状況調査」の各目標値に関する数値の分析及び事業成果についての検証

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月	千葉県英語の学力状況調査総括説明会及び研修会 (5/14 総合教育センター ※事務所指導主事対象)	
6月	「小学校外国語活動中核教員養成研修」「中・高等学校英語科教員指導力向上研修」に係る打合せ会議① (6/20 千葉県総合教育センター)	小学校中央研修 (6/18～6/22 5日間) (国立オリンピック記念青少年総合センター)
7月	「小学校外国語活動中核教員養成研修」「中・高等学校英語科教員指導力向上研修」に係る打合せ会議② (7/13 千葉県総合教育センター) 小学校中核教員養成研修① (7/27 神田外語大学) 小学校中核教員養成研修② (7/30 神田外語大学) 中学校英語科教員指導力向上研修①②③	神田外語大学

	(7月～8月中に各教育事務所) 高等学校英語科教員指導力向上研修① (7/31 神田外語大学)	
8月	小学校中核教員養成研修③ (8/1 神田外語大学) 高等学校英語科教員指導力向上研修② (8/2 神田外語大学) 高等学校英語科教員指導力向上研修③ (8/3 神田外語大学) 千葉県英語の学力状況調査総括説明会及び研修会 (高等学校：7月末～8月) (中学校：8月末～9月に各教育事務所)	神田外語大学
9月		
10月	千葉県英語の学力状況調査 (10月～11月)	
11月	授業練磨の授業公開・研究協議会等 外国語指導助手指導力等向上研修① (11/1 千葉県総合教育センター) 外国語指導助手指導力等向上研修② (11/2 千葉県総合教育センター)	小学校中央研修 (11/5～11/9 5日間) (独立行政法人教職員支援機構)
12月		
1月	高等学校英語科教員指導力向上研修④ (1/30 千葉県総合教育センター)	
2月	中学校英語科教員指導力向上研修④ (2/15 千葉県総合教育センター)	
3月		
【その他の取組】 中・高指導評価研究協議会 (英語教育拠点校14校で開催)		

